



NO 3

令和5年6月2日

文責：喜多三郎

『いのちを大切に、進んで学ぶ、素直でたくましい子どもの育成』

島五小だより ふるさと安中大好き！

～すなおさいっぱい かしこさいっぱい たくましさいっぱい～

○ 『水無月：みなづき』6月

早いもので、いよいよ6月になり、梅雨の季節となりました。6月は旧暦で『水無月：みなづき』といいます。田んぼで草を取り終わって、まずは稲作の仕事をし尽くした。つまり、「皆、し尽くした」が詰まって「みなづき」。また、6月は梅雨明けで水が少ないことから、「水の無い月」などという説もあります。水のない月と書きますが、6月は間違いなく「水の月」なのです。私たちも含め、全ての生き物にとって欠かすことのできない

『水』を、大切にしなければならないという先人たちの思いがあるのではないのでしょうか。水に親しみながらも、子どもたちにとっては時に命の危険にさらすのも「水」であります。毎年、全国どこかで川や海で水の事故を耳にすると、心が痛みます。学校では、常、日頃から「自分の命は自分で守る」と繰り返し指導しておりますが、今後夏へ向け、川や海へ出かける際は、必ず保護者同伴で、また近くの川等で遊んでいる児童を見かけられましたら、子どもたちだけで遊んではいけないこととしておりますので、声かけやご指導をよろしくお願いいたします。また、この時期、豪雨等により、子どもたちの登下校に危険を及ぼすことも考えられます。登下校の安全指導についても、学校でも繰り返し指導をしております。家庭・地域におかれましても危険箇所等の確認も含め、見守りや指導等よろしくお願いいたします。

32年前の1991年6月3日雲仙普賢岳の噴火災害により43名もの尊い命が奪われ、特に安中地区は大打撃を受けました。それから全国からの温かい支援を受けながら、長い年月をかけ、わたしたちのふるさと安中は見事に復興を遂げました。そこには、まちの人たちの「自分たちのまちは、自分たちで守り、必ず復興させる」という強い思いが人を動かし、法整備等、国をも動かしました。実際、当時の第五小自体も避難を強いられ、第三小学校を間借りしたり、安中グラウンドに建てられた仮設校舎で学んだりしていました。先人達の熱い思いや頑張りのおかげで、現在の教育活動がスムーズに展開できることに感謝しなければなりません。当たり前のことが当たり前でできることに感謝です。

本校では、6月2日（金）2校時、全校で「いのりの日」集会を体育館で行いました。外部講師として、安中在住の退職校長会 永石 一成 先生をお招きし、紙芝居を視聴したりして災害への学習を深めました。また、4年生の代表児童4名が、災害学習で学んだことを「いのりの日に寄せる思い」として発表をしてくれました。

今後とも、噴火災害を決して風化させることなく、そして、「6・3 いのりの日」を忘れることなく伝え続けていかなければならないと強く感じております。また、災害から学んだ『いのち・きずな・感謝の心』を本校教育の根幹に据え、子どもたちを育てていく覚悟を全職員、新たにいたしました。ぜひ、ご家庭・地域におかれましても、6月3日亡くなられた方々へご冥福をお祈りするとともに、災害のことや防災について話題されてください。自然は素晴らしく、時に自然に癒やされ、私たち人間は自然の豊かな恩恵を受け、日々生活しています。しかしながら、人間を脅威にさらすのも自然です。だからこそ、自然を大切にしていかなければなりません。

**みんながって みんないい！
笑顔いっぱい、ひとみ輝く第五小**



○ 児童玄関にきれいなお花

児童玄関に、5月9日からペチュニアのきれいなお花をもってきて頂いております。これは、中木場在住の喜多 淳一 さんが自分が育てた花を子どもたちのために毎年もってきて頂いております。災害当時、消防団員として仲間を失った悲しみを乗り越え、「6月3日を忘れないで欲しい」「まちを守ろうとした防人がいたことを忘れないで」と、子どもたちにお花のお世話をとおして、噴火災害への関わりを持って欲しいとおっしゃっていました。今後、これらの花は島原駅に飾られ、「島原は元気です」と全国にアピールしたいとのことでした。ありがとうございました。『広報しまばら』6月号に、喜多さんの記事が掲載されています。ぜひ、ご覧ください。



○ プール清掃

1日(木)～2日(金)にかけて、5、6年生がプール清掃を行いました。水泳指導前の清掃活動でしたが、子どもたちは水しぶきをたくさん浴びてとても気持ちよさそうでした。暑い中の活動でしたが、さすが高学年、汗びっしょりになりながら、全校みんなのために精を出してくれました。

19日(月)からいよいよ水泳指導が始まります。子どもたちが、大変、楽しみにしているプールでの活動です。天候に左右されますが、天気の良い日には、思いっきり水泳を楽しんでほしいと思います。人間にとって水は大切なものであり、冷たくて気持ちのいいのも水ですが、時に怖いのもまた水であります。全国的に、川等での水の事故が後を絶ちません。水泳の技能を習得することは、自分の命を守るひとつの方法です。プールでのルールを徹底させ、各学年、目標に応じて真剣に取り組ませ、いろいろな泳法を知り、身につけさせ、水泳の技能の

向上と自分の記録が少しでも更新するよう指導を行ってまいります。各家庭におかれましても、引き続きコロナ感染症等の予防もあわせて、毎日の健康観察を十分に行っていただきますようよろしくお願いいたします。



○ 『梅ちゃん』劇場の始まり！始まり！

今年度も、本校図書ボランティアグループ『梅ちゃん』による「読み語り」が、6/1(木)からスタートしました。今年度は、19名の方々にボランティアの登録をしていただいております。「読み聞かせ」は、子どもたちもとても楽しみにしており、心にしみのお話や英語での読み聞かせがあったりと、子どもたちは、目を輝かせて楽しんでいました。また、子どもたちに親しみやすい図書館づくりにも取り組んで頂き、掲示物の工夫や本の並べ替え、補修等、ご尽力いただきいております。本校が目指している子どもたちの読解力の育成においても、読書の推進は有効だと考えております。あわせて、読書は心の栄養とも言われます。思いやりの心や優しさ、素直さの育成など、想像力を身に付けるには最も有効な手段です。ぜひ、家庭での読書推進も、よろしくお願いいたします。「梅ちゃん」への募集は、随時、受け付けているそうです。子育ての交流の場としても、時間があられる方は、ぜひ、参加されてはいかがでしょうか。



